

原稿用紙の使い方

原稿用紙は、字数の決められた文章を書く時などに便利である。使い方に特定の基準はない。ここでは、一般的に用いられている書き方を示す。

わたしにとつての国際化
——自分の意見をもつということ
を聞くと、思い出す話がある。

中学一年のホームルームの時間、文化祭の
出し物の決め方が安易に「多數決」というこ
とになりそうになつたとき、オーストラリア
からの帰国生だけが「みんなでもつと話し合
うべきだ」と反対した。

- ① 題名**
二行目の上から三、四字めから書き始める。
副題をつける場合には、次の行に題名より下げ
て書く。副題にはダッシュ(—)をつけるとよい。
- ② 氏名**
題名の次の行か一行あけた行に書く。終わり
を下から一、二字分あける。
- ③ 書きだし**
本文は、氏名の次の行か一行あけた行から書
き始める。最初の一文字分をあける。行を改めて
新しい段落にする時も、最初の一文字分をあける。

④ 句読点・符号
句読点(。)やかつ(ー)(ー)・『』(ー)・
など)、疑問符(?)、感嘆符(!)などの符号
類は、それぞれ一字分を使う。疑問符、感嘆符の
あとに文を続ける場合は、一字分あける。ダッ
シュ(ー)や点線(…))は二字分使う。

⑤ 数字・アルファベット
数字は、縦書きの場合、漢数字を用いるのが
原則。横書きの場合は、算用数字を用いるのが
原則。「一般的」「一つ」「二つ」のような場合
は漢数字を用いる。

符号の使い方

・ なか点・なかぐろ

- ①名詞を並列する
②外来語の句切れ・日付などを示す

(ー) かつ(ー)

補足する内容などを加える

ー ダッシュ

- ①言い換えを示す
②間を示す

⋮ 点線

- ①省略を示す
②余韻を示す

かぎかつこ (ー) で囲む。

『』 二重かぎ

- ①かぎかつこの中でかぎかつこを使う
②書名を示す

示す

⑥ 会話文

かぎかつこ (ー) で囲む。

波形

- 時・場所などの「○○から△△まで」を
示す

⑦ 引用文

で囲む。長いものは改行して引用文全体を二字
程度下げて書く。